

「美瑛町中心市街地活性化整備事業に関する基本構想」に対する町民コメント実施結果について

「美瑛町中心市街地活性化整備事業に関する基本構想」に対し、町民の皆様からご意見を募集いたしました結果について、ご意見の概要とご意見に対する町の考え方を報告いたします。

## 1. 町民コメントの実施結果

案件名	「美瑛町中心市街地活性化整備事業に関する基本構想」
実施期間	令和6年6月1日（土）～6月30日（日）
基本構想の公表方法	1. 役場1階町民コーナー・町民センター・図書館・ビエール子ども支援センター に基本構想の報告書を配備し閲覧 2. 町ホームページへの掲載
ご意見の提出方法	郵送・FAX・電子メール・LINE 回答フォーム・ご意見箱への投函
結果の公表方法	町ホームページ
ご意見等の提出者数・件数	提出者数：11名（内1名無記名のため対象外） 件数 11件 提出方法内訳：電子メール 4 FAX2 LINE 回答フォーム 1 郵便 3 窓口 1

※頂戴したご意見については、個人が特定されないよう一部加工し掲載しています。

※障がい者用グループホーム等についてのご提案を多く頂戴しておりますため（5件）、回答は1つにまとめ報告いたしますことをご了承ください。

## 2. ご意見の概要

### A：障がい者グループホーム及びコレクティブハウスについて（5件）

年代	50代
ご意見	<p>幸せな事に、美瑛で子育て支援をして頂いて多くの方にお世話になってここまで来ることが出来ました。息子はこれからも美瑛町内で働き暮らし続けたいと言っています。</p> <p>わが家の事になってしまいますが、この4年、雨の日も雪の日も早朝出勤で交通手段がないためにどんなに仕事で忙しくても職場まで送り、バスが休日や祭日、長期休みの時はお迎えをしています（パートなので、交通費は支給されていません）。</p> <p>成人も過ぎ、そろそろ一人暮らしをと考えても、家賃の事（障がい者雇用</p>

	<p>パートで) 金銭的な事、一人暮らしの不安などもあります。</p> <p>同じように障がいがいたり、生き辛さ、年齢を重ねて不安を感じている町民は一部の方ではなく、みんなが抱えている問題だと感じます。親もいつまでも子供と一緒に暮らせる訳ではなくとても不安です。私はずっと、その先の支援としてグループホームやコレクティブハウスがあったら、様々な方と困難を一緒に乗り越えて共に美瑛町で安心して生き続けられることを望んでいるし何年も願ってきました。</p> <p>是非、皆さんで集える居場所が欲しいです。年々、町内で多様な困難さを抱えている方は増えているように感じている今、少数と思われがちなことにも目を向けて欲しいです。</p> <p>私も力になりたいし、関わりたいと思っています。どうか宜しく願いいたします。</p>
--	--

年代	50代
ご意見	<p>この度の中心市街地活性化整備事業基本構想を拝見し、とても良いことと思いました。</p> <p>日頃より子どものことでお世話になっており感謝しております。</p> <p>実はかねてより、町長・行政の皆様要望してきました障がい者のグループホーム並びに多機能施設が未だに何のお話もないままで突然このような高齢者構想に憤りを感じております。</p> <p>今まで長年に渡り子どもと生活していて、地域でのグループホームの生活を待ち焦がれて生活する姿を見ていて、子どもの願いを代弁していますが、同じ悩みを抱えている人は沢山います。誰もが将来障がいをおうのであるから今の構想を障がい者に切り替えていただきたく懇願致します。</p>

年代	50代
ご意見	<p>6. 施設計画について</p> <p>(1) 高齢者住宅・地域交流センター</p> <p>安心・安全なまちなか居住対象者について、いくつか提案させていただきます。数年前に縁あって美瑛町に移住してきました。「聞こえる人も聞こえない人も安心して関われる場を大切にしたい」と30年近くにわたって手話サークルを守ってこられた方々の想いに深く共感を覚えたことが、移住を決断した大きなきっかけの一つです。観光地として素晴らしく、高齢者にも優しい町として、周りに誇れる美瑛町ではありますが、</p> <p>一方で障がい者に対して優しい町とは言えないというのを、移住してこの数年実感しているところです。</p>

	<p>美瑛町で生まれ育ってきたという聞こえない人で、いつか美瑛町に戻りたいという気持ちを持っている人達もいます。自然豊かな環境で過ごしたいという思いから美瑛町に憧れの気持ちを持っている聞こえない人の話もよく聞きます。また、知り合いの中には、誰かのサポートを受けながら安心して過ごせる場所を必要としている人もいます。</p> <p>今や「多様性を生きる社会」のあり方が問われている中で、障がい（できないこと）にフォーカスするのではなく、できることで支え合い、誰もが安心して過ごせる、存在意義を感じながら生きていく環境づくりを意識していくことが、今後ますます求められるようになるでしょう。</p> <p>障がい者雇用の促進も併せて、グループホーム内蔵型コミュニティハウスができることによって、移住促進にも繋がり、魅力ある町になっていくと思います。「観福提携」を意識した取り組みの検討を強く望みます。</p>
--	---

年代	50代
ご意見	<p>6,施設計画について</p> <p>(1) 高齢者住宅・地域交流センター</p> <p>安心・安全なまちなか居住対象者についてのご提案です。</p> <p>現在の高齢者住宅として、南町高齢者住宅、西町高齢者住宅があります。そして各地域にて小規模多機能事業所による、在宅と泊りのきめ細かなサービスが提供され、他市町に比べ美瑛町は大変充実しています。また、高齢者人口については、今後減少していく見込みであります。</p> <p>一方、障がい者の住環境は町内にグループホームがないことで、卒業後の子ども達が高齢者住宅へ転出せざるを得ない状況が続いています。</p> <p>地域で大切に育んできた子ども達が、生まれ育った町で安心して暮らせる住まいが必要です。また、親亡き後を考える保護者の方々も切実に要望されており、入居対象者は一定数いると思われまます。</p> <p>住民ファーストのまちづくりを第一に考えるのであれば、町に充足していない福祉が最優先課題ではないでしょうか。町の障がい者福祉計画の中でも、グループホームは施策としてあげられています。今回の居住者を高齢者に限定するのではなく、障がい者グループホームと併せて、高齢者、社会的弱者も含めた互いに支えあえる共生型の住まいとすることが、本当の意味での多世代交流となり全ての人の居場所づくりにつながると思います。</p> <p>住まいの課題だけでなく、移住政策、雇用等にも繋がりますので、町民にやさしいまちづくりの実践として、是非ともご検討いただきたいと思います。</p>

年代	70代
ご意見	<p>美瑛町における多世代共生まちづくり・拠点に向けた取り組みの地域交流センターは、高齢者住宅・地域交流センターを複合的計画し、「地域の縁側」となる施設とするとあります。共生社会を構想にしているならば、高齢者と障がい者が一緒に暮らせる居住施設でなければ共生社会にはなりません。</p> <p>西町の高齢者住宅の移転はよいことと思いますが、新しく交流センターを計画しているなら、3階建てにして行き場のない障害も持った人が、自立した安心して生活が送れるように考えるのも、行政サービスではないでしょうか。</p> <p>子育て支援・寺子屋・読み聞かせスペースとありますが、既存のビエールはどうするのですか？ 具体的な今後の活用を考えていますか？</p> <p>この地域交流センターに集約することを計画しているのでしょうか。検討を。</p> <p>まちなか歩行空間の整備についてですが、バリアフリー化するのは大賛成です。既存のビエールのスロープは設置されています。階段には手すりがなく、手すりがあれば楽に上がることができます。また、夜に使用する際、階段付近が暗く、転倒する恐れを私自身感じました。</p> <p>まちなかバリアフリー化計画するときには、是非ともやっていただきたいと思います。</p> <p>身近な地域で誰もが安心して生活できるまちづくりが重要です。住民ファーストを考えるなら、様々な分野を横断した計画・共生社会の方向を検討していただきますよう強く望みます。</p>

#### A：障がい者グループホーム及びコレクティブハウスについてのまちの考え方

障がいのある方々が居住する施設において、今回のパブリックコメントではグループホームやコレクティブハウス、コミュニティハウスといった整備についてご意見を頂戴しております。

今後も地域共生社会の実現を目指し、ご指摘いただいた課題を検証しグループホーム等の整備を含めた検討を継続してまいります。

また、検討を進める中で民間事業者の知見や協力を受けながら、地域の人々の困りごとを自分の事と捉えていただけるよう、誰もが安心して生活できる社会に向け、関係団体・機関と共にご意見に基づき協議・検討を継続してまいります。

B:他のご意見（5件）

年代	70代
ご意見	<p><b>第3章   拠点のアクセスと移動：</b></p> <p>市街地の3つのゾーニングの方向性（第3章、P24）は適切だと思います。加えて、交通弱者の町民がそこに集まり、拠点を移動する手段をセットで構想すべきと思いますが、いかがですか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. へき地のコミュニティーの車を持たない高齢者や小中学生が、中心市街地の拠点にアクセスできる交通（スクールバスのない休日や、平日の日中に出かけられる）</li> <li>2. 市街地の車を持たない高齢者が中心市街地の拠点を循環する交通（①町立病院、高齢者住宅・地域交流センター、農産物マルシェ、その他の買物拠点を結ぶ②乗降しやすい③観光客がは乗らない）</li> </ol> <p><b>第3章   経済波及効果：</b></p> <p>この構想が美瑛町の人口と経済を顕著に押し上げるかどうかの検証が要ります。直接効果となる町の投資額は別として、「賑わいの形成ゾーン」の施設が継続的に生み出す①収益のビジネスモデル②経済波及効果（概算）を検証します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インバウンドの増：来場者と宿泊者の増加をいくらと見るか</li> <li>2. 客単価の増：来場者による場内および市街地回遊による消費額の増加をいくらと見るか</li> <li>3. 雇用効果の増：ゾーンの施設で新たに発生する雇用創出（起業を含む）をいくらと見るか</li> </ol> <p><b>第3章   駅北エリアに人を吸引する緑や光の市街空間：</b></p> <p>駅北エリアが、“まちなかに集積する高ポテンシャルな場”、“迎え入れる呼び込む顔づくり”というのはわかるけど、究極的に生み出したいもの、つまり＜観光と経済の基本戦略＞は何ですか？ それがあって初めて施設のアイデアの良し悪しが検証できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このゾーンの戦略シナリオは総合計画によればこうなるのでは？ <ol style="list-style-type: none"> <li>① 観光面では通過型観光と農地の観光公害を助長した「丘エリア観光」の人流をここに分散し吸引する、</li> <li>② 経済面では夏冬を通じて吸引した人流を市街地に滞留・滞在させインバウンドと客単価を増やす、</li> <li>③ それに誘発された経済波及効果で起業や多角化の雇用を生み、関係人口を増やし究極的に町内の人口と経済の持続に寄与する。</li> </ol> </li> <li>2. だとすれば、このトレーラハウスの収容キャパは真の問題解決にな</li> </ol>

りませんがそれでいいですか？（令和5年度の夏場の宿泊客延数は、7・8月の各25,000人泊、6・9月の各15,000人泊）

3. 同じく屋台型の農産物マルシェ（常設、土日稼働）は、冬の寒さで雪におおわれた空間と化すことでしょう。収益（経済効果）が足りません。“まちなかに集積する高ポテンシャルな場”とは真逆です。収益で美瑛選果やふらのマルシェを超えたいのか、ふるさと市場程度でいいのか、どちらですか？

4. このエリアの対案ですが、通年型の木造のフードコート&マルシェを提案します。客ターゲットは海外や近隣の観光客と町民。駐車場との間に200mのプラタナス並木（落葉樹、南西向き）を植えます。

夏はマルシェの客が木陰のベンチやカフェテーブルに滞在します。冬はシャンゼリゼ通りのようなイルミネーションや、チカラノのカラーボールで飾ります。クリスマスマーケットや大晦日のカウントダウンもできます。フードコートで暖かい飲み物があります。（例：冬に稼働しているニングルテラス）

#### 6. 施設計画 | トレーラハウスでオーバーツーリズム対応？：

「中心市街地にはラブニールやその他小規模の宿泊施設はあるが、夏のオーバーツーリズムに対応してないため、中心市街地での宿泊施設を充実する必要がある」との記述。オーバーツーリズムは観光公害の意味なので、ここは夏場の宿泊キャパの不足と表記するのがよいと思います。

#### 7. 施設計画 | 異業種交流・滞在型拠点施設：

旧施設は活用しなければだめですか？これは類似のものがあるから不要だと思います。この場にこの施設がなければならぬ根拠が必要です。

1. 産業・就労者支援は商工会や農業振興機構があり、研修・交流・宿泊は旭に施設があります。長期の滞在は民間に任せればよい。
2. イノベーションの創出とか農業のデジタル化と、農業ヘルパーの宿泊は関係ないでしょう。
3. 人口減少のなかでハコモノの統合が普通です。この案ではひとつ増えます。

#### 8. 事業フレーム | 施設のマネジメント：

「賑わいの形成ゾーン」の経営は特定の法人に集中しない、補助金なしで経営できる、起業や多角化など意欲ある町民が新たに生み出す経済の恩恵を享受できるようにしてほしい。例えばまちづくり株式会社は町民も出資する、起業する移住者を雇用して事業部を任せるなど、マネジメントの革新を図ってほしい。

<p>まちの考え方</p>	<p>この度は、高齢化社会における懸念事項を始め、経済循環や総合計画との検証・比較等、当町の発展に向けた多大なるご指摘や展望を頂戴いたしましたことに感謝申し上げます。</p> <p>ご指摘いただきました高齢者の移動やまちなかの拠点循環における移動手段確保、また、中心市街地活性化の事業展開における経済波及効果・検討へのご提言等は今後の事業検討・協議に重要なご意見です。</p> <p>まちづくりには皆さまから頂戴したご意見を含め、関係機関や団体等との協働による多角的な検討を推進することが必要であり、そのうえで町民の皆様が住み続けたく、移住検討者にも選ばれる地域となるよう、賑わいのあるまちづくりを目指してまいります。</p>
---------------	---

<p>年代</p>	<p>60代</p>
<p>ご意見</p>	<p>サイクルステーションは観光客だけでなく、住民も気軽にサイクリングを楽しめるきっかけになり良いと思います。一方、上級の方だけでなく、初心者でも容易に始められるソフト（サービスや環境）の充実も図るべきかと思います。</p> <p>また、冬期はこの施設が十分に機能できないことも考えるべきで、通年を通して充実して利用・活用できる充実できる内容を併せて検討いただければと思います。</p>
<p>まちの考え方</p>	<p>環境負荷の低減や当町の景観を楽しむといった理由等から高まるサイクル需要ですが、町内を走るサイクリストの皆さんが安全かつ快適に、また交流が促進されるようなイベントや利用環境の充実を検討してまいります。</p> <p>なお施設を整備する際は、ご指摘いただいた冬期間の利活用についても、冬の市街地活性化に資する施設となるよう検討してまいります。</p>

<p>年代</p>	<p>60代</p>
<p>ご意見</p>	<p>数十年前に家族で移住してきました。当時、美瑛駅構内には売店があり、待合室は活気に満ち溢れていたことを思い出します。</p> <p>① 市街地活性化については、駅前の商店の中を大小の車が通行する道路を、例えば午前10時から午後5時までの時間を設定したうえで車の通行を禁止し、人が往来できる道になることで買い物の人が安心して歩き回れる空間に変える。</p> <p>② 病院や歯科、公共施設（役場・図書館 etc）などを巡回するEVマイクロ車を運行し、車を持たない高齢者や車を必要としない人の利便性を向上させる（EV車は災害時の電源所に代えることが可能）。</p>

	<p>③ 駅の北町大町側を駐車スペースとして、既存の線路の上にあるコンクリートの陸橋を有効に活用し、駅前には歩いて移動し、ゆったりとした散歩やベンチに腰掛けて一休みできる場所に変える。</p> <p>美馬牛から旭川やフラノ方面に出かける際は、街中を走行しなくても国道を使用すれば行けるので、①②共に可能。</p> <p>商店が商店街に変われば、人と人とのコミュニケーションが活発となり、しいては旅行者との交わりも増え人も元気になる。人と商店の人とのやり取りこそが大型店にない小売店の魅力であり、良さでもある。</p> <p>早さばかりが強調される中、ゆっくりとした時間の味わい深さを知る機会になるのではないのでしょうか？</p> <p>ふるさと市場や美瑛選果などへは荷物も大量にあるので車が必要になるが、前述の北町大町側の駐車スペースに車を置いて、その他の食料品等は歩いて買いに行くのも楽しいと思います。</p>
<p>まちの考え方</p>	<p>人々の往来が可能な空間創出、公共施設や病院を循環する EV 車両の運行等、貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>EV 車両はご指摘のとおり災害発生等の非常時にも活用でき、また駐車場の整備により人々が歩いて町内を巡ることは排出ガス抑制にもつながる、ゼロカーボン宣言を明言している当町にとって非常に有益なご提案です。</p> <p>今後のまちづくりにおいて頂戴したご意見を踏まえ、多角的な視点から協議・検討に取り組んでまいります。</p>

<p>年代</p>	<p>80代</p>
<p>ご意見</p>	<p>1. 今回の町民コメントを求める趣旨がよくわかりません。</p> <p>① 中心市街地活性化に取り組むべきかどうかについて意見を求めるのか</p> <p>② 基本構想が出来上がっていないので、基本構想と別に、都市再生整備計画による事業を進めるために必要とする意見の集約なのか</p> <p>いずれにしても、適切な方法と思えませんが、とりあえずコメントします。</p> <p>2. 中心市街地活性化事業については、できる限り既存施設の活用を基本とし、かつ事業展開にあたっては町民事業者優先によることとしていただきたい。もちろん運営主体は、「中心市街地活性化協</p>



	<p>議会」がつかさどることになることでしょうかから、速やかに協議会の運営方法を開示していただきたい。</p> <p>3. そもそも、この中心市街地活性化制度は、「報告書4P」にも記載されているとおり制度の有益性に疑問符がついているうえに、制度の実施対象が、「都市機能が郊外などに分散し、中心市街地に於いて都市機能が十分に発揮されない」という旭川市のような都会であって、美瑛町が直接取り組む課題ではないと思います。※ただし町村に於いての取り組み例が過去に2件あり、また、直近の令和6年度に山形県の小国町の認可例がありますので、参考にできると思います。</p> <p>美瑛町において必要なことは「まちづくり総合計画」の実施計画に策定であり、その中で「中心市街地の在り方」についても論じるべきだと思います。</p>
<p>まちの考え方</p>	<p>町民コメントをいただくための趣旨を分かりやすくお伝え出来ず申し訳ございません。また、他自治体の例についてご教示いただきありがとうございます。</p> <p>今後の中心市街地活性化におきましては、多角的な事業推進の検討及び関係機関・団体との協議等を図りながら、様々な手法により皆様から適宜ご意見を頂戴し活性化が図られるよう取り組みを進めてまいります。</p>

<p>年代</p>	<p>40代</p>
<p>ご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中心市街地活性化整備事業に美瑛駅構内を含めた基本構想に動線（バリアフリー化）、スペースの活用 etc 一体的に検討できないでしょうか。</li> <li>● 高齢者住宅→若者住宅を含めた多様性の住宅。 条件：一定のボランティアスタッフとして携わる要件を満たす。 年齢 etc 見守り 人手不足の解消、世代交流</li> <li>● まちなかオフィス（起業・登録）仕事ができる場所の整理</li> <li>● 現在は中途機能のため、どこかにレンタルオフィスがあると良い（まちなか産業活性化・イノベーション創出）</li> </ul>
<p>まちの考え方</p>	<p>複数のご意見を頂戴しありがとうございます。</p> <p>様々な形でつながりが生まれる、レンタルオフィスやコレクティブハウス等は中心市街地に求められている地域共生社会の創出に資するものと考えております。頂戴いたしましたご意見は関係機関・団体とも共有</p>

	しながら当町の将来を見据え、賑わいが継続する美瑛町であるようまちづくりを進めてまいります。
--	---